

<p>● 団体名</p> <p>一般社団法人岡山県ユニバーサルスポーツ文化協会岡山デビルバスターズ 代表者 安藤 久志 記載者 福島 聡子</p>
<p>● 所在地(市区町村名のみ)</p> <p>倉敷市</p>
<p>● 活動目的</p> <p>視覚障がい者、他の障がい者も含めて健常者とともにスポーツを通じて当たり前になり混ざり合う社会をつくる。</p>
<p>● 団体の紹介</p> <p>視覚障がい者と健常者がともにアイマスクを着け、鈴が入ったボールでプレーするブラインドサッカー。ボールの音・仲間の声をたよりに走り、パスをつなぐ。見えない状態だからこそ仲間との信頼、聴く集中力がブラッシュアップされる。視覚障がい以外の障がいを持つ仲間も含め、特性・個性を生かし合って活動中。</p>
<p>● 助成を受けての活動内容</p> <p>前半にブラインドサッカーの概要紹介、視覚障がいについての講義を実施。「見えづらさ」を体験キットを使用して体感、アイマスクを着用して白杖を持つ友人を介助歩行する体験を含め、視覚障がいについての理解を深める。後半にブラインドサッカー体験を実施。アイマスクを着用して指示を聞くこと、音の鳴るボールを手でキャッチ・足でトラップ、ドリブル、ガイドの誘導を聞いてシュートを体験・練習し、ミニゲームを実施。最後に講義・体験の振り返りを行い、視覚障がい者への配慮について話し合う。</p> <p>視覚障がいについて学び、人を思いやる気持ちを醸成する機会を提供できている。また日頃のサッカーの活動に通じる声掛けの重要性を再認識していただくことができた。</p> <div data-bbox="135 1081 1477 1413"> </div>
<p>● 助成を受けての成果</p> <p>これまで備品及び体制が不十分で、自主開催の体験会を実施できていなかった。助成を受けたおかげで体験会開催用の備品をそろえ、児童らに安全な環境で、ブラインドサッカーの競技用具を実際に使って体験していただくことができた。次年度以降、岡山県内でブラインドサッカーの普及および視覚障がい理解を深める体験会を継続していくことができる。</p>
<p>● 今後の活動の課題点</p> <p>今後、中・高校生を対象にしたプログラム、企業研修として採択されるプログラムにできるよう内容をブラッシュアップさせる必要がある。 チーム内で講師担当ができるメンバーを複数育成し、メンバー自身がしっかり学び、体験会開催の体制を整えていかなければならない。</p>
<p>問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)</p> <p>http://okayama-devilbusters.spo-sta.com/</p> <p>問合せ:090-8604-4011(安藤) メール devil.busters0425@gmail.com</p>

→アイマスクを着用した仲間を介助する体験。点字ブロック上を歩き、障害物を回避する誘導・声掛けを行いました。



←アイマスクを着用してボールをトラップ。後方の大人が「右、もっと右」などと、声で指示を出しました。

→ミニゲームを実施。アイマスクを着用してサッカーをするためには、ボール・周囲の仲間の声を聴くことに集中する必要があります。

